

令和7年度 鹿児島県中学校総合体育大会 バドミントン競技大会要項

- 1 大会名 鹿児島県中学校総合体育大会バドミントン競技大会(兼九州大会予選)
- 2 期 日 令和7年7月22日(火)・23日(水)
- 3 日 程 令和7年7月22日(火) 開場 8:30 開会式 9:30 競技開始 10:00
<団体戦は決勝及び第2代表決定戦まで、個人戦はベスト16まで>
23日(水) 開場 8:20 競技開始 9:30
<個人戦はベスト16～決勝まで>
- 4 会 場 22日(火) 男女とも：『西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)』
〒890-0023 鹿児島市永吉1丁目30-1
23日(水) 男女とも：『南栄リース桜島アリーナ(桜島総合体育館)』
〒891-1419 鹿児島市桜島横山町1722-17
- 5 参加資格 (1) 参加者は各地区中学校体育連盟加盟の学校に在学し、学校教育法に基づく当該中学校生徒であること。
(2) 学校からの参加について
① 監督は、当該中学校の学校職員(常勤)・部活動指導員とする。
※事務職員・主事・司書補等も可
② 引率は、当該中学校の校長・教員・部活動指導員とする。
③ 外部指導者は、校長が認めた者とする。
(3) 参加資格の特例を認める(開催基準7(8)地域クラブ活動)。
(4) 地域クラブ活動からの参加について
① 県中体連が定めた手続きにより認められた、鹿児島県内に所在する地域クラブ活動(クラブ・少年団等)で活動している生徒の場合は、所定の手続きで日本バドミントン協会及び鹿児島県バドミントン協会への登録をしていること(学校での参加の場合は必須ではない)。
② 一つの活動母体から登録できるのは1チームのみとする(同じ活動母体のクラブが名称を変えて複数チームを登録することはできない)。
③ 県総体から全国中学校総合大会に至るまでの間(県総体・九州大会・全国大会)で所属できるチームは1つとし、その間の移籍は不可とする。
④ 地域クラブ活動等で出場する場合の監督は、20歳以上の成人で次のいずれかの条件を満たすこととする。なお、同一大会において他の団体の監督やコーチを兼ねることはできない。
代表者…地域クラブ活動の登録責任者であること。
指導者…日本バドミントン協会公認審判員資格3級以上を取得して、日常的に指導していること。
(令和7年度末には日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(バドミントン)資格所持者が最低1名は団体に所属していること。なお、短期間での取得が困難な場合は、団体登録後3年以内に取得することとする。)
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格について
「コーチングアシスタント」「スポーツリーダー」「スタートコーチ」「他競技の指導者資格」「スポーツ少年団スタートコーチ」も含む。
⑤ 引率責任者は、代表者または指導者とする。
⑥ コーチについては、申し込みの1チームにつき1名とし、年度初めに所定の手続きを経て県中体連に登録された者とする。同一大会において他の学校やクラブでのコーチ

及び監督登録はできない。

- (5) 中体連への登録及び参加申し込みに際して、虚偽の内容や不正が判明した場合には、出場は取り消しとなる。大会後に判明した場合は、入賞等の取り消しもあり得る。

6 参加制限

- (1) 本年度より、団体戦・個人戦共に、令和7年度5月に行われる県中学生バドミントン大会の結果を基に制限する。(※感染症ややむを得ない事情等で大会参加ができなかった場合は、申し出があれば県中体連バドミントン競技役員で審議する。)

団体戦ベスト16に入った学校及びクラブチーム。個人戦ダブルスA級の部ベスト64、シングルスA級の部ベスト64に入った者。(離島及び小規模校で活動している生徒はこの限りではない。)

なお、ダブルスは、ペアの1人が個人戦ダブルスA級の部ベスト64に入っていれば、出場可とする。

併せて、個人戦においては、(4)の記載通りとする。

- (2) 団体戦は、男女とも各学校または地域クラブ活動とも1チームとし、チーム編成は、監督1名・マネージャー(生徒)またはコーチ1名・選手5~7名とする。
- (3) 団体戦の選手変更については、監督会前までに所定の手続き(団体戦変更届)を経た場合のみ認める。
- (4) 個人戦は、男女ともに、各学校または地域クラブ活動からシングルス4名以内、ダブルス4組以内とし、シングルスとダブルスを兼ねて出場することはできない。
組合せ会後の個人戦の選手変更は認めない。ダブルスの一人が出場できなくなった場合は棄権とするが、初回戦の場合のみ、監督会での了承を得た上でオープン参加を認める場合がある。その際の代替の選手は当該校または当該クラブから出すこと。
- (5) 鹿児島県中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、コーチ等は、指導中における暴力・体罰・セクハラ等(以下「暴力等」)により、任命権者又は学校設置者等から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、地域クラブ活動のチーム・選手の指導者等は、各中央競技団体の倫理規定等に基づいて、各競技団体等から処分を受けていない者であることとする。校長または代表者はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
- (6) 大会の参加者(出場者、引率者、役員、応援者等)は鹿児島県中体連の「感染症及び熱中症対策ガイドライン」及び「バドミントン競技ガイドライン」を遵守すること。
- (7) 「外部指導者」について

外部指導者とは、

- ① 学校の場合 学校からの申請を経て中体連に登録された、外部の指導者とする。
審判資格の有無は問わない。

- ② 地域クラブ活動の場合 年度初めのクラブ登録に含まれていない方に、やむを得ずコーチを依頼する場合に「外部指導者」として扱う。審判資格の有無は問わない。

※ 年度初めに登録されたコーチは「(所属)コーチ」として別途申請は不要。

ただし、地域クラブの指導者は、3級(以上の)審判資格は必要。

注意

「大会当日に所属コーチが参加できない」などの理由がある場合に、臨時的に(その大会で他のチームやクラブに登録されていない方に)コーチを依頼する時は、「外部指導者」として申し込み時に、所定の申請を行うこと。

なおこの措置((7)②及び注意)は、クラブチームにおいて「県総体に限ったもの」であり、九州大会や全国大会に出場する際には年度当初に中体連に登録されたコーチ(所属コーチ)のみが、各大会の規定に則って登録できる。

外部指導者が参加する場合は、必ず参加申込書と同時に、県専門部長へ「外部指導者確認書 様式2(県中体連ホームページよりダウンロード可)」を郵送または持参で提出する。コーチの参加は男子チーム1名、女子チーム1名までとし、男女の外部

指導者を兼ねてもよい。同一の大会において複数の学校またはクラブの外部指導者を兼任することはできない。

7 競技方法

- (1) 21点1ゲーム（延長あり）を基本とするが、団体戦は準決勝から、正式ゲーム（代表決定戦も含む）とする。個人戦は、2日目のベスト16に入ってから正式ゲームとする（ベスト8をかけた試合から行う）。
- (2) 団体戦について
 - ① トーナメント方式とする。

九州大会出場チームは、優勝チームと、第2代表決定戦で勝ったチームの2チームとする。第2代表決定戦は、準決勝と決勝で優勝チームに負けた2チームで行う。
 - ② 試合は、ダブルス2・シングルス1の対抗戦とし、ダブルス・シングルス・ダブルスの順で行う。初回戦においては3組とも行うが、その後は2点先取で打ち切りとする。
- (3) 個人戦については、トーナメント方式とする。個人戦3位は決定戦を行う。
- (4) シード権については、5月に開催された県バドミントン協会主催の中学生大会及び令和6年度11月の県新人戦の結果等を参考にする。「A級、B級」等のクラス分けがある場合は、上位クラスの結果を参考にする。（個人戦は、A級ベスト16を考慮する。）

また、1年以内に九州大会・全国大会等での入賞や代表選出等の実績がある場合は考慮する。

8 競技規則

2025年度日本バドミントン協会競技規則に準ずる。

- (1) 大会ウェアは、2025年度日本バドミントン協会審査合格品とする。

ただし、学校の事情によっては、県総体に限り「学校の正課の体育服・体育館シューズ」も認める場合があるので、申込の際に相談すること。

全国中学総体のルール変更に伴う明記事項

 - ・ウェアの上衣（シャツ）の裾は、儀礼（開閉会式・試合入退場・あいさつ等の時）の際は下衣（ユニフォームの半ズボン）の中に入れること。（試合中にユニフォームのシャツが出ていることは、熱中症対策の意味もあるため問わない）
 - ・アンダーウェア（インナー）は、ウェアから見える場合は、日本バドミントン協会審査合格品のみ可とする。
 - ・ソックスのメーカーロゴの数について
特にソックス及びふくらはぎのサポートソックスなどについては、メーカーロゴの数が片脚で2つまでとされているので、サポートソックスを着用する場合には注意すること。医療用のサポーターを着用する場合のメーカーロゴは、合計の数に入れず。
- (2) 水分補給には、スクイズボトル（ふたを開けて直接飲むタイプ。ワンタッチ式可）のみベンチに持ち込むことができる。
- (3) 試合中の腕時計、ネックレス、スポーツブレス等の使用についてはすべて不可とする。
- (4) 白い布地のゼッケンを背面に必ずつけること。

ゼッケンのサイズは横30cm×たて20cmとする。（次項参照）
- (5) 監督・コーチがベンチに入る場合、体育館シューズを使用すること。

なお、ベンチに入る監督・コーチの服装は、次のとおりとする。
（九州大会以上の大会に準ずる）

 - ① 上衣は、襟付きのシャツ（ポロシャツ可）または日本バドミントン協会審査合格品とする。（選手のユニフォームと同じものをそろえた場合などは襟なしでも可）
 - ② 下衣は、ジャージ・スラックス等で長ズボンとする（七分丈や短パンは不可）。
- (6) 競技者及びコートサイドにいる者は、試合中における電子通信機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等）の使用を禁止する。コートに持ち込む際は電源を切っておくこと。併せてカメラ・ビデオカメラ等の持ち込みやベンチでの使用も禁止する。（撮影だけでなく、試合中のスコアリングやメモ等での使用も禁止）

- (7) 2階席からの写真・動画撮影については可とするが、動画投稿サイト等への公開は禁止する（特に他チームの生徒が写っているものを無断で公開しない）。
写真や動画等の撮影を断る個別の事情等がある場合は、申込時に連絡すること。
動画配信等については、事前に専門部長及び大会本部に相談すること。
- (8) 大会運営上、引率者または監督に大会役員の協力をお願いすることがある。
- (9) チームの名称や選手名については、大会運営ソフトの仕様上、文字数の多いものや異体字を正確に表示できない場合がある。

9 使用シャツ 及びネット

2025年度日本バドミントン協会検定合格品を使用する。

10 組合せ

組合せは、6月26日（木）の各地区中体連専門部長及び県バドミントン協会中学部の推薦する方の出席による「専門部会（抽選会）」において決定する。

後日、鹿児島県中体連のホームページ等で公表する。各チームへの郵送はしない。

11 監督会

7月22日（火） 西原商会アリーナ 本部横スペース 8：45～

監督またはコーチもしくは引率責任者の参加とする。監督会には、必ず出席すること。

12 申込方法

(1) 期限 6月12日（木）必着 ※郵送に係る日数を考慮して投函すること

(2) 規定 ① 県中体連ホームページから申込書様式をダウンロードし、郵送とメールの両方を申し込むこと。

② 併せて、参加費及びシャツ料費も6月17日（火）までに振込むこと。

③ 男女の申込データ（Excel ファイル）を同一のファイルに統合しないこと（男女別々に添付する）。.xlsx 形式にすること

*ファイル名の付け方をそろえる。

○○中 男子 / ▲▲クラブ 女子 などのように、
チーム名と男女別を入れる。（チーム名と男女の間は半角で）

令和7年度—□□中 女子—県総体参加申し込み書

↑ ↑ ↑
不要 半角スペース 不要

④ 学校または地域クラブ活動代表者からの申込（郵送・送信）
を原則とし、保護者個人や外部指導者からの申込は受け付けない。

⑤ 大会直前や期間中に緊急の連絡をする場合もあるので、引率責任者の携帯電話番号を記載すること。

(3) 申込先

郵送先 〒891-0143 鹿児島市和田二丁目44番3号
鹿児島市立和田中学校
橋野 奈々代 宛

送信先 kagbadchutairen@yahoo.co.jp

※ 問い合わせは学校においては顧問または引率担当者から、地域クラブ活動においては代表者または引率責任者からメールで行うこと。保護者や外部指導者等からの直接の問い合わせは受け付けない。

(4) 参加申込料 1人 1,000円（補欠・生徒マネージャーも対象とする。）

※参加申込料以外に、シャツ料費として1人600円を徴収する。

★マネージャーのシャツ料費は、徴収しない。

※大会当日、受付にて、監督及びコーチタグと領収書を渡す。

【振り込みを原則とする】

『鹿児島県中学校体育連盟バドミントン専門部』へ振り込む（振込先：鹿児島銀行
口座番号 3002518, 西武町支店）か、和田中へ持参すること。期日：6月17日（火）まで

※ 当日、棄権の場合も、参加申込料・シャトル費は、返金しない。

- 13 表彰 (1) 団体戦男女各優勝チームに賞状・優勝旗を、第2位・第3位に賞状を授与する。
(2) 個人戦男女各第1位から第3位の選手に賞状を授与する。

- 14 その他 団体戦2チーム（優勝チームと第2代表）、個人戦シングルス上位4名、ダブルス上位4組は九州大会への参加資格を得る。→ 大会終了後、チーム監督者に、説明を行う。

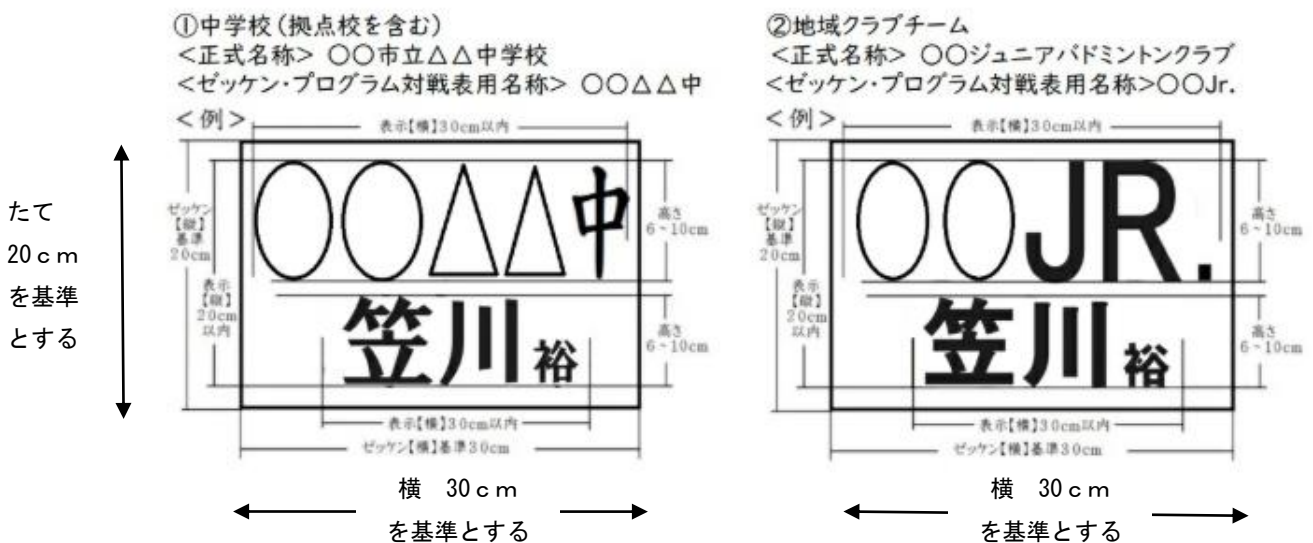
ゼッケンについて（全国大会・九州大会の規定に準ずるため、変更になる場合がある）

1 白い布で文字は上下二段とする。上段は学校またはクラブ名、下段は選手名とし、同じチームに同姓の選手がいる場合は、姓の後に小さく名の一文字目を表示する（一文字目まで同じ場合は全部の名前を小さく表示する）。白の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とする。

2 文字列、背番号は明瞭な文字（楷書体・明朝体またはゴシック体のような文字で、アルファベットを用いる場合は、今まで通り小文字でも可能である）、数字（算用数字）を使用し、文字、数字の色は上衣背面の文字列、背番号表示部分の色と明確に区別できる色とする。

※「アルファベットを用いる場合は、大文字のみとする」について、令和7年度（2025年度）までは、施行を猶予する。→ となっていましたが、【大会運営規定第24条（1）④】により、小文字も認められるようになりました。

※都道府県内に重複がなければ「△△中」も可。



文字の横幅合計 30cm 以内。文字数の制限はないが、学校またはクラブ名と選手名（姓）はそれぞれ1行ずつにおさめること。

3 文字は楷書で色は黒か濃紺色で統一すること。

4 文字の大きさは、高さ6~10cmとし、横幅は全部で30cm以内になるようにする。

5 ゼッケン以外（上衣の前面や袖）の着衣表示については、日本中体連バドミントン競技部の申し合わせ事項の内容（スポンサー企業名等は入れないなど）を遵守すること。